



会長 佐々木 源 悦
 幹事 岩 渕 正 彦
 会報 江 川 元 徳 氏 家 良 典
 及 川 勝 永 布 施 孝 尚
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2448回例会 2014. 5. 1 No.42

本日の出席率

・本日の出席率 58.93%

ニコニコボックス

- ・佐々木源悦会長 地区大会、お花見例会に多くの会員の出席ありがとうございました。千葉吉男会員のスピーチに期待します。
- ・富士原裕子会員 誕生祝いありがとうございます。
- ・及川勝永会員 4月、ワイフの誕生祝に花をいただきありがとうございます。
- ・千葉吉男会員 本日スピーチ担当です。よろしくお願ひします。
- ・布施孝之会員 お花見例会での親睦活動委員会の皆様のご活躍に感謝いたします。千葉吉男会員のスピーチを楽しみに。
- ・及川勝永会員 吉男ちゃんのスピーチに期待。
- ・飯塚仁哉会員 千葉吉男会員の情熱溢れるスピーチを楽しみに聞きますよ。
- ・菅野幸一郎会員 千葉吉男会員のスピーチに期待して！
- ・佐藤静市会員 千葉吉男P・Pのスピーチに期待します。5月誕生会員の皆様おめでとうございました。
- ・岩渕正彦幹事以下、千葉吉男会員のスピーチに期待。
佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 山田直志会員
佐竹孝行会員 高橋利光会員 山田正会員
小野寺伸浩会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 佐々木源悦会長

先週は、鳴子ホテルに於いてお花見例会、その前の週は、仙台にて地区大会が開催され、多くの会員に出席いただきありがとうございました。

先週、先々週と大きな行事があり、今年度の主な行事は大体終わったのかなと思われました。皆様のご協力により何とかここまでやってこられました。これからは次年度に向けて地区協議会等が開催されます。当クラブに於きましても猪股育夫会長エレクトが、役割分担を決め、皆様にFAX送信をしましたのでお手元に届いていると思います。地区協議会の登録締切りが5月2日(金)ですので、早めに決めたと聞いております。今日から5月に入りましたので、今年度もあと2ヶ月となりました。5月25日には、東京のロータリークラブからお客様がおいでになると思います。正式に案内が来ましたらお知らせいたしますので、ご協力の程お願い申し上げます。今月は例会が5回ありますが、全部会員のスピーチとなっております。担当の会員にはよろしくお願ひ致します。スピーチを楽しみにしております。

幹事報告 岩渕正彦幹事

- ・ガバナー事務所より 地区大会参加に対するお礼状が届く
- ・川崎大師RCより、会報が届く
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く
- ・登米市暴力団追放対策協議会より 平成26年度総会の案内
日 時 5月26日(月) 14:00~
場 所 南方公民館 1階多目的ホール
- ・本日、理事会を開催します。

誕生祝 (5月に誕生日を迎えられる会員)

- 鈴木彦太会員 山田正会員 清水健会員 富士原裕子会員

今週のスピーチ

千葉吉男会員

2年前にスーパーユニット構想というお話で話をしましたが、近い将来に大分進んできますので、それについてお話ししたいと思います。

スマートメーターを東京電力がかなり力を入れており1万世帯につけています。最近、こちらの方にも自宅にスマートメーターをつけるという案内がきています。それは、どういうことかと言いますと電力会社のメーターに携帯電話が入っているという感じ。資料を配布しましたので、資料に沿って話を進めて参ります。

○電力業界に2つの波がやってくる

1. 電力システムの改革

東日本大震災をきっかけに、日本電力供給システムが見直されることになりました。経済産業省の「電力システム改革専門委員会」で報告がまとめられ、2013年11月、電力システム改革を3段階で進める「改正電気事業法」が成立しました。現行の電力制度ができて以来、初めて抜本改革となります。

(1)広域系統運用の拡大

東日本大震災直後の電力危機への反省から、電力会社の枠を超えて電気のやりとりを拡大し、安定供給の確保をめざします。2015年に全国規模で電力供給を調整する「広域系統運用機関」を設立されることになりました。

(2)小売および発電の自由化

2016年をめどに電気の小売および発電事業を全面的に自由化してビジネスへの新規参入を解禁します。競争によって電気料金を下げることが狙いです。一般家庭も電力会社を選べるようになり、サービスの選択肢が広がります。

(3)送配電部門の中立性の一層の確保

2018~2020年にかけて、電力会社の送配電部門を法的分離して別会社にします。発電事業者や小売事業者が送配電ネットワークを公平に利用できるようにして参入への障壁をなくします。

2. スマートメーターの普及

スマートメーターとは双方向の通信機能を持った次世代の電力メーターです。現在、約7,800万戸に設置されている電力メーターは、各家庭に訪問して手作業で検針していますが、スマートメーターに代わると電力会社側で電気の使用状況を30分単位で把握できるようになります。それらの情報は、需給ひっ迫時や再生可能エネルギーの供給変動に活用され、また需要家側でもHEMS (Home Energy Management System) と接続して家電の制御に役立てることもできています。現在、一部の電力会社でスマートメーターの導入が始まり、実証実験が行われている段階です。今後、本格的な導入に入り、2020年代早期には全家庭に設置される計画です。

自由化による新規参入企業の増加で、電気料金メニューが多様化することが予測されますが、そこで問題になるのは、各家庭でどのメニューを選択すれば電気料金を安く抑えることができるかです。

最適なプランを選ぶためには、家庭ごとの電気の使

用状況や使用パターンを把握する必要があります。電気の使用量をモニター画面で「見える化」し、家庭内の電化製品や電気設備をつないでエネルギーを効率よく管理するHEMSの導入は、一般住宅において、今後欠かせないものになってくるでしょう。

電力会社との通信機能を持つスマートメーターがHEMSとつながり、いよいよ本格的なスマートハウスの普及を迎えます。電力会社と各家庭がスマートメーターでつながることによって、「デマンドレボンス」という制度が取り入れられる予定です。これは電力の安定供給を目的にしたもので、たとえば夏の猛暑日や冬の大雪など電力需要の増大が予測される日に、電力不足回避のため昼間などピーク時の電気料金を通常よりも高く設定して電気使用量を減らすものです。これもHEMSを導入した家庭では、事前に使用を控える通知を受け取ったり、自動で宅内の家電製品を制御するサービスを受けることができます。

○ピークシフトに重要な役割を担う、蓄電池。

(1)クリティカルピークの需要抑制は大きな課題

日本では電力消費が5000万~6000万kWにもものばる、クリティカルと呼ばれる時間帯が1年間に約200時間あります。東京電力管内では、気温が1度上がれば原子力発電所2基分の電力が跳ね上がると言われています。逆に言うと、クリティカルピークさえ電力消費量を抑制できれば、燃料費も削減できますし、電力会社は緊急時の発電設備も持たなくてもすみます。

(2)ピークシフトには蓄電システム

電気料金の安い時間帯に系統電力から充電し、電力需要ピーク時に電力を供給できる蓄電システムです。タイマーを設定するとピーク時間帯に自動的に系統電力から給電を停止し、蓄電システムから給電します。災害などの停電時のバックアップ電源としてもお備えいただきたいシステムです。

時間帯によって電気料金が違います。みんなが使う時間帯は電気料金は高く、12時から午後1時までの1時間、そして夜中は安くなっています。夜中の12時から朝の8時まででは通常1/3の料金です。パソコンをつないで制御すると電気料金の安い時間帯に蓄電することが出来ます。蓄電した電気を高い時間帯に使用すると電気料金をおさえることが可能になります。このことは2年前のスピーチでお話しましたスマートグリッド構想で、近い将来実現します。

—「パナソニックの取り組み」より引用—



5月に誕生日を迎えられる会員